

令和6年度 学校評価アンケート（学校関係者評価）集計表②

- 自己評価結果
【A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である】
A（4.0～3.25）、B（3.24～2.5）、C（2.49～1.75）、D（1.74～1.0） ※A＝4 B＝3 C＝2 D＝1で換算
- 各領域の二重線枠に自己評価が適切にされているか等について、ご意見があれば記載願います。
- 自己評価

C
S
評
価

教
員
評
価

領域	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	■改善・充実の方策	R 6 C S	R 6 教員	R 5 教員
総務	1 各分掌・学年との連携を密にし、校務・学校行事等の円滑な運営と充実を図る。	1 各分掌・学年と連携し、行事予定の調整や学校行事等を円滑に進めることができたか。	【教職員】 1 滞りなくできた。今後も働き方改革やPDCAサイクルを意識した教育活動に努める。 2 学校祭等の行事において、多くの保護者に参加していただいた。次年度も連携して実施に努める。 3 今年度、学校案内やホームページ等のデザインを見直し、刷新した。引き続き、適切な情報をその都度発信する。 4 デジタル化すべきもの、紙で残すもの等の区別を行い、業務の円滑化に努める。	A 3.5	A↑ 3.3↑	B 3.1
	2 P T A・同窓会活動などを通して、保護者・地域との連携に努める。	2 P T A・同窓会の役員会や総会等を円滑に企画・運営することができたか。		A 3.3	B 3.0↑	B 2.9
	3 広報活動を活発に行い、長万部高校の様子を保護者・地域に発信する。	3 学校案内の作成や学校だより、ホームページ、Instagramの運用を円滑に行い広報活動を推進することができたか。		A 3.7	A 3.3↓	A 3.6
	4 職務の円滑化に向け、環境整備に努める。	4 職務の円滑化に向け、職員室の環境整備や会議の運営、校内規定集の管理に努めたか。		A 3.5	A↑ 3.3↑	B 3.1
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・職務を円滑に勤めるため、デジタル化が進んでいることは評価できる。 ・P T Aや同窓会の評価が低めなのは、同窓会の取組や同窓会と教職員の関わりが少ないことが要因として考えられる。 ・校外へ向けての広報活動について、保護者アンケートの結果を中学校の保護者、中学生向けに発信できれば良いと思う。（R 6学校生活の結果は良いアピールになると 思う。）				
学習活動	1 基礎基本を充実させ「主体的・対話的で深い学び」に係る授業改善を推進する。	1 基礎的・基本的な学習内容を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び教授方法の改善が推進できたか。	【教職員】 1・2 今後もICT機器を活用した「個別最適な学び」を推進し、生徒の学力向上に努める。 3 「総合的な探究の時間」や各教科において、地域連携をとって探究活動を推進することができた。小中大とも連携し、より効率的な教育活動を実践していく。	A 3.6	B 3.1↑	B 3.0
	2 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、I C T機器を効果的に活用する。	2 I C T機器の活用により、生徒が学ぶ意欲を高め、評価の改善及び個別最適な学びを進めることができたか。		A 3.7	A↑ 3.3↑	B 2.5
	3 地域との連携・協働を強化し、探究活動を一層推進する。	3 地域と連携・協働した「総合的な探究の時間」全般に関する連絡・調整、各種講演会、その他の学習の企画・運営を推進することができたか。		A 3.7	A 3.5↑	A 3.4
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・総合的な探究の時間において、高齢者と関わる内容を地域の方及び関係者と協力しながら実践していただきたい。 ・小中高合同発表会の地域の方からの参加が少なすぎる。生徒が考えた町の課題をもとに発表していても地域の方がほとんど知らない。学校内で終わっているような気がするので学校運営協議会や保護者以外にも町の各団体への参加呼びかけが必要かと思う。 ・探究の授業で町中にどんどん出てきてほしい。また、町内の活動の際は事前の広報も重要になると思う				
生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立を目指し、 規範意識を高めるとともに 社会に貢献できる資質の向上を図る。	1 教育活動全ての場面において、基本的な生活習慣及び 規範意識を高めるとともに 社会貢献の資質向上を図ることができたか。	【教職員】 1. 適宜、現在社会で求められている規範意識とは何か考え、生徒と教員が共通認識を図っていく。 2. 外部機関と連携し、滞りなく講話等を開催することができている。継続していきたい。 3. いじめ事案が発生したが、組織的に迅速に対応することができた。いじめ内容も年々変わっていくことから、いじめ事案発生時の対応マニュアルを年度毎に見直していく。 4. 生徒会総務を中心に生徒主体の運営ができている。今後も継続し、民主的な生徒会運営を図っていきたい。	A 3.3	B 2.8↓	B 2.9
	2 特別活動を充実させ、地域との関わりを深め、主体的・協調性を養う。	2 地域・関係機関との連携を密にし、生徒の主体性や協調性を育むことができたか。		A 3.3	A↑ 3.3↑	B 3.1
	3 いじめの早期発見・解決に努め、豊かな人間性を育む。	3 いじめに係る未然防止と早期発見、早期解決を実現し、生徒の自己管理能力を育むことができたか。		A 3.7	A↑ 3.4↑	B 3.1
	4 生徒会行事や諸活動を通して連帯感や一体感を養い、本校生徒としての自覚を育成する。	4 生徒各自が計画・審議・実行に参加することによって自覚を促し主体性を育てることができたか。		A 3.6	A 3.3↓	A 3.5
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・基本的な生活習慣及び社会貢献の資質能力向上の項目が低めの評価となっているが、生徒アンケートでは、学校生活全般で高評価となっている。教員と生徒との認識の違いを考える必要がある。 ・いじめ等の早期発見・早期解決等、生徒が安全・安心な学校生活を送るため、地域や家庭との連携を密にするとともに、生徒の自主性や協調性を育むために地域との関わりをもつ活動を推進していただきたい。				
進路指導	1 小中高大の連携による「地域課題解決型キャリア探究」を推進する。	1 「地域課題解決型キャリア探究」の推進に向け小中高大の連携が実施できたか。	【教職員】 1 中学校との合同職業説明会実施、キャリアパスポートについて町研サークルで議論し、その弱点を発見することができ、地域連携と地域資源の活用を図ることができたと考えている。また、東京理科大学とは、教科や総合的な探究時間で学習支援・連携を図ることができた。 2 生徒の進路実現を支援するためには、保護者との面談は有効かつ必要なものであるため、今後も保護者面談や進路説明会等での連携した進路指導を継続していきたい。 3 生徒の進路実現意識の向上を図ると共に、教員の進路指導力向上のため、校内連携を活発にし、学校全体で進路指導と円滑な進路実践に参画できるよう工夫していきたい。	A 3.3	B↑ 2.9↑	C 2.4
	2 保護者と進路情報を共有し、進路意欲を喚起させる等継続的できめ細かな支援を行う。	2 保護者説明会や三者面談等を実施し、保護者と共通理解のもと進路指導を実施できたか。		A 3.5	B 3.1↑	B 2.8
	3 地域や関係機関と連携し、適切な情報提供を行う。	3 ハローワークや商工会等、地域との連携により円滑に進路指導を実践できたか。		B 3.1	B 3.1↓	B 3.2
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・生徒アンケートは高く、保護者アンケート低いように見えるが、本評価は低めに思う。親子で話し合いができていない等の理由が考えられる。 ・進路の項目のみA評価がないのは何か理由があるのか。 ・次年度も理科大の授業を利用してほしい。町内の紹介パンフレットは学生に大変好評だった。				
健康安全指導	1 心身の 健康の保持増進に努め、健全な生活を営む態度の育成を図る。	1 心身の健康を意識し、自己管理能力を育むことができたか。 <u>（※昨年度は、2の項目事項）</u>	【教職員】 1 ほけんだよりのテーマや内容が、生徒の実態に即したものとなるよう工夫し、感染症の流行をなんとか防ぐことが出来た。メンタル面でのサポートにも注力したが、今後も継続していきたい。連携を図ってWBGT計を活用し、意識付けできた。継続していきたい。 2 連携を図りながら、指導することが出来た。 3 教員の指導と協力により、清掃活動の充実をはかることが出来た。継続することで、より一層美化意識を高めていきたい。地域の方のご協力により今年もプランターを設置することが出来た。	A 3.6	B↓ 3.2↓	A 3.5
	2 安全に対する意識の高揚に努め、自己管理能力を育成する。 <u>（※昨年度は、健康・安全に対する～）</u>	2 様々な事態を想定した安全教育の工夫・充実が図られたか。 <u>（※昨年度は、1の項目事項）</u>		A 3.5	A 3.3↓	B 3.5
	3 学習環境を整えるために、地域と連携し、校舎内外の美化活動を推進する。	3 地域と連携した清掃活動等により、学習環境を整備できたか。		A 3.3	B 3.2↓	B 3.4
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・今後も生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう、養護教諭と担任の連携、スクールカウンセラーとの連携に努めていただきたい。				
学校運営	1 持続可能な社会の創り手となるため、生徒のウェルビーイングの向上を図っている。 また、保護者及び地域から信頼される学校づくりを推進している。 ※ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に満たされた状態	1 教育活動全般をとおして、生徒のエージェンシーの育成をすることができたか。 また、関係機関との連携及び学校だよりやホームページ、Instagram等を活用し、適切な時期に教育活動の成果等を伝えることができたか。 ※エージェンシー：変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力	【教職員】 1 必要に応じて情報共有し、個に応じた指導に組織的に取り組んでいく。また、適切な情報をその都度発信し、保護者及び地域から信頼される学校づくりに努める。 2 職員会議や打合せ等において、日頃から危機管理について啓蒙するとともに、分掌や学年運営について情報共有を図りながら教員が目的意識を持って業務に専念するよう努める。 3 校内研修会の実施や教科研修会への参加について啓蒙する。	A 3.7	A 3.3	A 3.5
	2 学校経営参画意識が向上している。	2 常に危機管理を意識するとともにスクール・ポリシー 及び本校の身に付けさせたい資質・能力 の作成等学校経営参画意識を高めることができたか。		A 3.5	A↑ 3.3↑	B 3.2
	3 日常的に研修を推進している。	3 各自がテーマを持ち、授業公開週間や校内外での研修会、講習会等に積極的参加したか。		A 3.6	A 3.4↓	A 3.5
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・広報活動については、学校の良さを引き続き、中学校及び地域住民に発信してほしい。学校だよりや学校ホームページ、Instagram等で学校の様子を掲載して教育活動を発信していただきたい。生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう、教員間での連携を密にするとともに危機管理意識の向上に努めていただきたい。				

その他（意見）
・令和6年度の学校評価

- ・自己評価集計並びに生徒・保護者のアンケート分析を見て自己評価の領域に関係なく、全体に生徒・保護者の高いように思われます。特に、全てにつながる学校生活の部分の評価が高いのがとてもいいと思います。また、ＩＣＴ機器を活用する授業または、進学・就職に伴う学習意欲、資格取得、講習、研修等、進学するためにも就職するためにも地域的に後継者を次として、部活動、生徒会活動、学校行事等の取組、社会人として必要なコミュニケーション能力がもっと高まるといいかなと思います。教師の目からのアンケート分析があってもいいのかなとも思います。現場の先生方の時代に合った考え方で授業を進めるのが一番良いと思います。同窓会活動についてですが、聞くところによるとなくなったり存在だけになったりしていると聞きます。なくするという意味ではなく、何か方法がないかと思っています。
- ・評価が適切であるか否かは分かりかねます。目標達成状況の評価は良いのですが、Ｒ７年度の出願者が7名であることを勘案すると、出願者の増加につながっていないと感じます。この学校評価が本当に必要か、このようなことをやる前に、他にやることがあるのではないかと考えてしまいます。先生方のご苦勞は十分に理解していますが、方向性が違うとしか思えません。